

典籍古文書調査

歴史研究室

本年度実施した典籍古文書調査中、主なものは次の如くである。

南都諸大寺関係古文書等の調査研究 〔興福寺〕『造興福寺記』（平安時代写本、紙背文書とも）並びに第19・20・22・23函の調査を行い、マイクロフィルムによる写真撮影を行なった。〔唐招提寺〕『唐招提寺史料』第1（奈良国立文化財研究所史料第7冊）を出版した。

高山寺所蔵古文書聖教類調査 数次にわたって高山寺所蔵の古文書を中心にして調査並びに写真撮影を行なった。第120・155・172～175函・補遺第3函所収の古文書並びに第139函所収紙背文書（一部は先に掲げた）及び五部大乗經紙背文書の一部（第37函の一部・第54函）をマイクロフィルムに収めた。また聖教類についても史料価値の高いもの若干点を選んで撮影を行なった。

その他の古文書典籍調査 〔神宮文庫〕山中文書（内約300通）・類聚神祇本源・御鎮座伝記・御鎮座本紀・元亨三年御遷宮記（以上紙背文書共）・氏經卿引付・御塩殿古文書その他古文書・記録類の調査並びに写真撮影を行なった。

〔金光図書館〕『法華至主要抄』断簡及び具注曆断簡類を調査した。